

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム みのりの郷作成日: 平成 29 年 10 月 5 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議を活かした取り組み	参加委員が固定化し、会議の内容が画一化しているため、参加委員の増員を図り、充実した会議を目指していく。	会議に薬剤師、地域で活躍しているボランティア、訪問歯科医など、幅広く参加を呼びかけ、より活発な意見交換ができる会議運営と、参加者にとっても情報や知識を得る場として、参加したくなる会議を目指していく。	12ヶ月
2		これからのグループホームの在り方	2025年から高齢者の減少が起こり、介護事業の多難な時代を迎えるが、認知症の増加は進むと考えられている。その中で、グループホームが地域福祉の拠点となっていけるような、具体的な取組を目指していく。	外部研修についての情報提供をし、積極的に参加を呼びかけ、職員の質の向上を図る。内部研修及び法人全体での勉強会においての中・長期計画を定める。その中で、職員が講師役・発表役を担当し、スキルアップを目指し、事業の安定に向けて取り組んでいく。	24ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。